

株式会社 NTT ネオメイト四国、パラダイン製 ReachDSL を採用

ReachDSL により、日本の事業者は従来の DSL で懸案の距離問題を克服

2005 年 4 月 11 日

米国フロリダ州ラゴ発 – 2005 年 4 月 11 日 – トリプルプレイを可能にするブロードバンド・ループキャリアのリーディングメーカーであるパラダイン社(NADAQ: PDYN)と本社代理店の株式会社ジェイ・ティ・エス(本社横浜市、以下 JTS)は、本日、株式会社 NTT ネオメイト四国(本社 松山市：代表取締役社長 渡辺 茂、以下 NTT ネオメイト四国)が同社の新しいブロードバンドサービスとなる「QUOLIA-DSL サービス」に、パラダイン製 ReachDSL を採用した旨発表致しました。

このネオメイト四国の新しいブロードバンドサービスは、香川県の琴南町(サービス開始済) 仲南町(4月28日サービス開始予定)でスタートし、四国内他地域へも順次拡大していく計画です。

ReachDSL は、NTT ネオメイト四国のお客様へ、標準の ADSL が抱えていた距離の問題をリーズナブルなコストで解決します。これで、交換局から遠く離れたお客様にも信頼性の高いブロードバンドサービスが提供されます。

NTT ネオメイト四国の尾田成樹課長は、「交換局からの距離の問題でブロードバンドサービスがなかった自治体からの要求に、過去満足に答えられなかったが、ReachDSL を使用することによって、標準の ADSL が抱えていた障壁を克服することが出来た。我々は 100%カバーの QUOLIA-DSL サービスを最小の投資で提供可能となった。」と語っておられます。

ReachDSL は上下 2.2Mbps のスピードを提供し、対称にも非対称にも出来るユニークな性能を持っています。これにより、事業者は、従来の個人向けのみならず、ビジネスユーザーにも同じ技術でサービス提供が可能です。

「日本の全ての市民に素晴らしいブロードバンドサービスを提供するための計画を引続き日本で進めて行く。パラダインは日本で 24 年以上に渡ってビジネスを成功させてきており、このユニークで、活気あふれる市場にふさわしい製品を一所懸命開発・製造していきたい。」と、パラダインの William Cobb 海外営業担当副社長は明言しています。

また、「日本は今 F T T H の大きな波が押し寄せてきているが、一方ブロードバンドサービスが得られない地域が多く残っているのも事実。ReachDSL を提供していくことにより、NTT ネオメイト四国様や自治体様と一緒にデジタルデバイド解消のため貢献していきたい。」と、JTS の小嶋知二社長は付け加えています。

ReachDSL は、日本でスペクトル適合性正式確認済みの技術です。

パラダイン社に関する情報は次のウェブサイトをご参照下さい：

www.paradyne.com

www.paradyne.co.jp（日本語）

J T S 社に関する情報は次のウェブサイトをご参照下さい：

www.j-ts.com

この件に関するお問い合わせは、以下までお願いいたします。

メールアドレス：info@j-ts.com

または、

株式会社ジェイ・ティ・エス

小鷲 Tel: 045-781-4711